

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No. 「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。		回答内容
（建築計画全般）		
1	行政と市民の空間シェアと動線の分離をどのように実現しますか？	利用室（例：会議室など）に適切にセキュリティをかけ、予約システムなどを運用することで、市民と職員の空間のシェアを実現したいと考えています。
2	天井の高さなどのくらいになりますか？今の庁舎と比較してどうなりますか。	天井高さは各階で異なりますが、1 階ロビーなど吹き抜けや議場などの高天井で計画している部分などを除いた天井においてはオフィスとして一般的な2,600～2,800mm程度を想定して設計を進めており、現在の本庁舎と同じような天井高さになる計画で、設計する考えです。天井を張らない工夫する事で、梁等の構造体がない場所ではさらに高い天井の高さを確保することが可能です。なお、現在の本庁舎の主な天井高さは、1 階3,000mm、2、3 階2,500mmです。
3	猛暑対策の建物ですか？	夏の暑い直接日射を遮るために各階庇を張り出す計画で、設計する考えです。
4	深沢のまちづくりを先導する市庁舎として、どのように寄与できると考えますか？	No. 80の回答にもつながりますが、単なる市役所としての機能だけでなく、市民や職員の多様な活動の場として計画することで、市民や人を呼び込み、新しい賑わいを生み出す拠点となると考えています。
5	図書館機能は現深沢図書館のということですか？「ふみくら」との兼ね合いで図書館機能が多くありません？また多目的、間仕切りで柔軟性を、という使い方が一番中途半端でどの使い方にも帯に短したすきに長しで機能しないことが多々です。吹き抜けのメリットは解放感、一体感以外に何がありますか？	図書館機能は、現在の深沢図書館を複合化（移転）するもので、新庁舎等の整備によって、中央図書館と四つの地域図書館という図書館の数が変わるものではありません。柔軟性に関しても中途半端な状態にせずしっかりと使いやすい施設となるよう検討していきます。また、吹抜けは火災時における排煙の他、空調における換気や自然光の取得などの環境装置としての利用を考えて計画しています。
6	今の市役所から設備品や情報を引き継ぎや共有はされているのですか？	詳細な整理は今後になりますが、使えるものは大切に利用したり、アップサイクル（不要品や廃棄物に新たな価値に変えて再利用する手法）したりしていく計画を立てたいと考えています。
7	湘南深沢駅から一番近いのが消防だともったいないと思うので、もっと消防の位置を北側に出来ませんか？	消防の緊急車両は西側道路から出動する計画であるため、現在の配置がもっとも良いと考えています。湘南深沢駅に近い南側にも広場や市役所の出入口を計画しているほか、土地区画整理事業によって生まれる新しいまち（エリア）の中心は南西側になるので、しっかりと利便性やまちと建物のつながりに配慮した計画で、設計する考えです。
8	消防署との合築をすると、サイレンの音がひっきりなしになるかと思います。防音はどう考えていますか？	施設内すべては完全に防音することはできませんので、ある程度のサイレンなどの音は聞こえてくるかと思いますが、議場や図書館の静読室などのしっかりとした遮音が必要な部屋には防音、遮音対策を講じます。 なお、庁舎などと消防の複合化や近接整備の事例（瀬谷区役所、熱海市役所、平塚市役所、習志野市役所など）があるように、こういった事例を参考に新庁舎と消防を複合化する計画です。
（DX（デジタルトランスフォーメーション））		
9	DXとは何なのか？まずそこを話さないと伝わらないです。	デジタル技術を活用して市役所が提供するサービスや体験、職員の働き方をよりよいものにしていくことです。 DX：デジタル・トランスフォーメーションの略データとデジタル技術を活用して、組織や仕組み等を抜本的に変革するとともに、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変革させること。【鎌倉市新庁舎等整備基本計画P.125】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/hontyosya-hakko.html
10	DXとは？	No. 9 の回答参照
11	DXは何の略？いつ生まれた言葉？どんな社会を目指す概念？	DXとは、デジタル・トランスフォーメーションの略です。 2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱されました。教授の定義によると、「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」とされています。（「令和3年度版情報通信白書 総務省」より引用） No. 9 の回答参照
12	DXは、予約システムとアプリ、ということですか？アプリはコンテンツイメージがつきにくく、果たして利用メリットがあるのか疑問です。もう少しDXについてわかりやすく解説してください	No. 9 の回答参照 DXにおける取組は様々ですが、予約システムやアプリだけでなく、デジタルを利用してより効率的な職員の働き方や、市民が市役所をもっと便利に使えるようにする取組全般になります。
13	鎌倉ONEは誰にでも使えるのでしょうか。難しそうに感じます。	今後の検討ですが、誰もが利用しやすいDX（アプリやシステム含む）を目指して計画していきたいと考えています。
14	冒頭「建替とDXの同時プロポーザルは初」と言われてたが、なぜ鎌倉市が新市庁舎を通じてDXを進めるのか？市民(特に高齢者にとって)DXはどんなメリットがあるのか？の説明がなかったのは残念	「鎌倉市新庁舎等整備基本計画（令和4年9月策定）」において、市民ニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎を目指すためには、これらの変化に適切に対応した新庁舎等のあり方を定める必要があるという考えの下、DX による窓口サービスの提供方法及び職員の働き方（ソフト）の変化を考察した上で、その変化を踏まえた施設（ハード）や技術（デジタル）を含めて一体的に検討し、新庁舎の整備に関わらず、市は行政DXを推進しています。DXを進めることで例えば、年齢にかかわらず、市民全体に対し、これまでより簡単に市民向けサービスが利用でき、また市庁舎まで移動せずとも享受できるメリットがあると考えています。行政手続のオンライン化や業務効率化により生み出した時間の余裕を、相談や支援など市民との対面が必要な業務に充てることで、引き続き、きめの細かい、AIなどのデジタル技術ではなく職員にしかできないサービスの充実も図っていきます。窓口や執務室等を含む基本設計を実施するに当たっては、その基本計画を踏まえ、これからの窓口サービスの提供方法と職員の働き方（ソフト）について、より一層具体化する必要があることから、今回のようなプロポーザルを実施することとしました。
15	取り残さないDXの導入についてもう少し具体的に聞きたい。結局は職員の方が使い方フォローに入ったりすると、結局全体の効率化にはならないと思うのでマンパワーでどうにかするというわけでない方策があるのか聞きたい。	No. 13の回答参照
16	このスマホを使った質問、やり取りは確かにスマートで有効だが、年長者へは不親切。まさに、今の鎌倉市のやり方。実際に声を挙げたい人の声をすくえていないのでは？様々な世代へ呼び掛けたいのなら、柔軟性を持った対応を望みます。建物に関する質問ではありませんが、根本的なことなので。	ご意見のとおり、スマホの扱いに慣れていない方がいることを想定し、操作の難しい方へサポートできるように、当日はアナウンスし、職員を配置していました。一人ひとりがマイクを持ち意見を長く発言されるような場合に比べ、挙手による発言を遠慮されることもなく、デジタル技術を活用した、一人でも多くの意見等が拾える方法の一つだと考えています。このように当日回答できなかった質問にも回答できることもあり、挙手制よりも柔軟に様々な方の意見できたものと考えています。

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No.	「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。	回答内容
17	デジタルに疎い高齢者向けの配慮はどういうお考えでしょうか？	No. 13の回答参照
18	DX を分かりやすく説明ください	No. 9 の回答参照
19	役所の職員には県外の方が多いと伺っています。それが問題と言いたいわけではなく、そのような事態が発生した場合の方法論は検討されていますか？ DXの特徴には、AI活用を進めることにより、市民自身が市役所のインフラを使って生活を維持できることもできるようになります。高齢者にも使い易いアプリや端末の開発についてはそのような対策もお考えですか？	【一つ目の質問について】 ・テレワークや窓口のオンライン化も含め、多様な働き方ができるよう、DXの普及も見据えながら検討を進めていきます。 【二つ目の質問について】 ・No. 13の回答参照
20	高齢化が進む中、デジタルに対応できない人が増えていく一方だと思うので、そこはどう対処するのでしょうか	No. 13の回答参照
21	アプリを使える人・使えない人で差が生じる？スマホを使えない高齢者への対処は？使えるようにケアする方向性？世代が進めば殆どの人が使える時代になる？	No. 13の回答参照
（市民利用スペース）		
22	図書館の規模が中途半端な気がします。蔵書数などどの程度の規模を計画されているのでしょうか？	令和5年4月1日現在の深沢図書館の蔵書数を確認し、同等数が蔵書可能な書架を計画するよう基本設計業務を発注しています。 具体的には、開架書庫約90,000冊、閉架書庫約40,000冊の蔵書が前提になるほか、その他の機能（読書環境や図書の貸出等）にも十分配慮することとしています。
23	特に用事がない人が来ても、時間を潰せる、自由に過ごせるような空間になりますか？具体的にどのような設えを用意してくれますか？今の市役所はあらかじめ用事の決まった人しか行くことができず、ちょっと休憩する、時間を過ごすということが難しいような雰囲気があります。	将来的にDX化によってweb上で行政手続ができるようになると、市役所に行く用事がますます減ることになります。その時の市役所がどういった場所であるべきか、しっかりと検討していきたいと考えています。 図書館を利用したり、学習センターを利用したりするだけでなく、様々な目的を持った市民や目的を持たないすべての市民が気持ちよく憩える場所として設計を進めています。
24	図書館は現在の書籍を全て収納できますか？	基本的に深沢図書館のすべての蔵書（開架約90,000冊、閉架約40,000冊）を問題なく収納できるスペースを計画し、設計する考えです。
25	子育て中の親子の憩える場がないように見えますがいかがですか？	キッズスペースを1階に計画しているほか、カフェや図書館部分も含めて子育て中の親子が利用できる場所を計画し、設計する考えです。
26	市民が利用できる食堂などは出来ますか？	食堂を設ける計画はありませんが、1階にカフェやコンビニを設置する計画となっています。
27	中学生や高校生がみんなスタバやファミレスで受験勉強をしていてかわいそうです。中高生が通えて、そこで勉強できるような市役所がよいと思うのですが、建築でサポートできることはありますか？	学習センターや図書館を複合化するほか、学生が自習できるスペース（わかたま）も計画します。
28	市庁舎内にコンサートホール等を作って欲しいと思います	鎌倉芸術館以外に、更にコンサート専用のホールを整備する計画はありません。また、規模などの面からも難しい状況です。様々な場面で利用可能な多目的ホール（スペース）も含め、様々な大きさや機能の集会室（深沢学習センターの機能）を設置する計画としています。
（市議会棟）		
29	議会は低層階に配置し、開かれた議会としてほしいです。最上階が議会というのは議員の意識にとってよろしくないと思いますが、いかがでしょうか。	市議会の検討も踏まえ、議場は最上階に設ける計画で、設計する考えです。 一番利便性の高い1階などの低層階に議場を作る場合、利便性が高いエリアを十分に有効活用できず、利用するとしても議場特有の設えなどから使い方に制限が生じる可能性があります。 今回の計画では低層階には多目的ホール（スペース）のように様々な利用ができる平坦なスペースを設け、市民がアクセスしやすく利用しやすい空間としたいと考えています。 また、議場を最上階に設置する場合においても、議場にはしっかり市民が傍聴できるスペースを計画するほか、屋上庭園や市民が憩える場所も整備したいと考えています。
30	議員と議会は1階に配置して、市庁舎を訪れた市民に議会が見えらようにすると、議会がよりオープンになり、市民とも近くなって良いと思いました。	No. 29の回答参照
（執務環境）		
31	市役所も稼働してみないとわからないこともあると思いますが、執務室などの利便性を考えて、変更できる作り方をされていますか？	No. 47の回答参照
32	中小の会議室スペースが充分に取られていない印象です。会議室などミーティングに対応するスペースの考え方を教えてください。	2階中心に、今後実際のニーズなどを整理した上で必要な会議室やミーティング等のスペースを計画し、設計する考えです。
33	職員の食堂 休憩室はありますか	食堂を設ける計画はありませんが、自席以外でも仕事ができたり、昼食が取れるスペースを設けたりするほか、1階にカフェやコンビニを設置する計画です。また、職員の休憩室等については、職場における労働安全衛生基準を踏まえて設置する計画です。
34	フリーアドレスを前提に職員の執務スペースを確保させていると思いますが、他の自治体では掛け声倒れで固定席での運営に戻っていることは把握されていますか。固定席になった場所にも執務スペースは確保できる面積はありますか。	他自治体でのそのような状況は承知していませんが、「鎌倉市新庁舎等整備基本計画（令和4年9月策定）」ではグループアドレス制の導入によって有効な空間活用が可能なものとして示しています。 ゆったりとした固定席を全職員分設けることはできませんが、全職員分の固定席は確保できる面積はあります（参考：現在の本庁舎と分庁舎の床面積の合計は約13,500㎡であることにに対し、新庁舎は約20,000㎡で計画）。今後、どのような執務室のレイアウト（グループアドレス制による席、固定席など）を検討していきます。

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No.	「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。	回答内容
35	今の庁舎は会議スペースも少なく、職員の皆さんがお困りになる様子を度々拝見します。職員の皆さんにとって安心便利に使える庁舎になることが、鎌倉市としての行政サービスの底上げや新しい職員採用に繋がると考えます。	（意見のみ）
（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）		
36	市役所に手続きなどに訪れる市民の具体的な動線が知りたいです。1階はその目的には関係ない空間なので、目的に辿り着くまでどうなるのか気になります。	行政手続などで訪れる市民の方はまず1階のコンシェルジュカウンターを訪れ、そこから適宜、手続や相談を行う場所を案内してもらうように考えております。今後DXや設計の検討によって手続や相談の流れや動線については、具体化していきます。
37	ユニバーサルデザインの考え方と具体的な計画を教えてください。	ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの個人の違いに関わらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のことであり、またそれを実現するためのプロセスでもあります。今回の計画においても、多様性・公平性・包括性なども踏まえ、積極的に取り組みたいと考えております。具体的には「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に沿って、車椅子利用者をはじめ、誰もが利用しやすいトイレを計画し、設計する考えです。
38	現庁舎は通路が狭く、ベビーカーで通るのもやっとです。今以上に人が集まる庁舎になることが予想されますが、移動しやすい庁舎内になるのでしょうか。	ベビーカーや車いすなどが十分にすれ違える通路幅（1800mm以上）を確保した廊下など、円滑に施設内を移動できるよう「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」などの基準に遵守し、設計する考えです。
39	来庁者の上階への移動も多いと思いますが、特に市民スペースのバリアフリーはどのように考えられているのでしょうか	1階の床はすべてフラットにしており、車いすの方も安心して来庁できるように計画しています。
（意匠・デザイン）		
40	現在の本庁舎のファサードは、上層階に行くにしたがって広がりがあるのが特徴的なのが良いと思うのですが、今回は狭まっています。デザインを継承出きると良いと思いますが如何でしょうか。	デザインを継承すべきかどうかは様々な意見があると考えており、新庁舎では、まちに対して圧迫感の低減などを考慮し、上階になるにつれセットバックした形状として計画しています。意見も踏まえて、外観デザインを検討していきます。
41	久米設計のデザインを、真似しましたか？	「久米設計のデザイン」を「現在の本庁舎のデザイン（久米設計）」としてお答えします。現在の本庁舎のデザインも参考にしながら新庁舎のデザインを提案しています。
42	伝統工芸やアートの視点でも、心に残る造形を心がけて欲しい。	（意見のみ）
（内外装）		
43	コンクリート建築で冷たくなる印象がありますが、そうならないようにどんな工夫をしていますか。	プロポーザルの企画提案時のイメージではコンクリート調に見えるかもしれませんが、柱梁などの表面に木調の素材を採用することで、温かみのある内装を検討しています。
44	鉄骨造との事ですが、その化粧はどの様な素材で考えていますか？ペンキ塗りですか？	詳細は今後の検討とはなりますが、木材を中心に仕上げる事を検討したいと考えています。
45	内装材として木材の利用はとても魅力的だと思うのですが、外装材として天然木材を使用する際の懸念点（耐久性や維持メンテナンス）についての対策やお考えがあれば教えていただきたいです。	木材は雨に強くはありませんので、できるだけ雨の掛からない場所を中心に木材を採用していきたいと考えています。また、外部に採用する際は対候性を持った木材を採用したいと考えています。
46	床材はコンクリートのように見える部分もありますが、どういう素材や意匠を検討しているのでしょうか？	コンクリート平板のようなものを考えていますが、意見や機能、コスト踏まえた上で検討し、今後決定していく予定です。
（コスト・工期・耐用年数）		
47	また、50年後老朽化した時の改築、増築の対応は何か考えていらっしゃいますか？	建物を建てる際に、環境面など配慮することが増えてきていますので、100年使える長寿命建築を目指して設計する考えです。建築設備は20年程度で改修、更新する必要がありますので、それらを更新しやすい建築計画とします。また50年後には使い方など色々と変化する可能性がありますので、間仕切りの変更などに柔軟に対応できる設計を進めていきます。
48	新しい庁舎は何年くらい使う予定（つかえますか）ですか	防水や設備などの修繕、更新などは必要ですが、100年使える建築を目指して設計する考えです。
49	今回の市役所の寿命は何年でしょうか？何年まで使えますか？	No. 48の回答参照
50	免震装置は100年持ちますか？	採用を検討している免震装置は100年の耐久性があるものと想定されて製造されています。ただし、現存する免震建物自体は40年程度の歴史であるため、免震装置の経年変化に配慮し設計したものが多くあります。
51	100年使い続けられる建物と50年で躯体に問題が生じる建物の違いは何ですか？	構造躯体の設計の違いです。
52	提案内容に沿った庁舎を建築する場合、標準的な工期はどの程度になるものなのでしょうか	近年、工期は人材不足や労働環境の改善などで長くなる一方であり、また実際の工期は施工者によっても変わりますが、現時点ではおおよそ35か月程度（2025年2月24日時点）を想定しています。
53	目標耐久年数を前提にライフサイクルコストの算出を。	（意見のみ）

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No. 「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。 （建物の構造（建築計画全般の類から特出し））		回答内容
54	中間層免震にした理由を詳しく聞きたい。1～2階の市民利用スペースが耐震構造になっておらず、書架が倒壊する可能性を審査会でも委員から指摘されていた。なぜ、地下に免震のゴム等を入れる構造にしなかったのか。建設予定地が柏尾川の浸水想定区域で浸水する可能性があるため、地下に免震構造を造れなかったのが理由でないのか。また、液状化の可能性もあり、地下の免震構造を避けたのではないのか。理由を聞きたい。1～2階は大丈夫なのか。	【中間層免震について】 ・基礎免震を採用した場合の免震層の浸水リスク（その場合の免震部材の交換リスク）、地下掘削増にかかるコスト・工期増、被災時にEXP.J（エキスパンションジョイント：建物の大きな変形差を吸収できる空間(クリアランス)を埋めるカバー）の損傷による緊急車両が出動できないリスクを考慮し、中間層免震が提案されています。 ・液状化については既往の調査結果である新庁舎の整備予定地の至近の調査地点を再検証した結果は、液状化しないとの判定でした（液状化に関する検討（深沢地域整備事業区域内における液状化の再検証について）https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/fuka_ekijouka.html）。今後、新たに敷地内の別の箇所でも液状化の判定を含めた地盤調査を実施し、必要に応じて液状化対策等を含めた具体的な基礎構造計画を検討します。なお、液状化の有無は中間層免震と基礎免震を比較検討する際の判断材料にはなりません。 【1～2階(免震下部)について】 ・建物全体として必要な耐震性能を確保する設計とします。免震層の下部であろうと、免震層の上部と同じ耐震安全性の目標（耐震安全性の目標は最上位のⅠ類：大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できること）を確保する設計を行います。 ・なお、1、2階もⅠ類という最上位の耐震安全性の分類で計画するため、他の公共施設（図書館や生涯学習施設）の耐震安全性の分類（Ⅱ類）よりも耐震安全性は高くなる計画です。 ※その他の基礎免震と中間層免震に関する比較検討についてはNo. 60の回答参照
55	なぜ基礎免震ではなく中間免震なのか？建設予定地が洪水危険地域のため、基礎免震だと浸水すると免震構造が使えなくなるからではないのか？	No. 54の回答参照
56	免震構造が二階と三階の間にあるのは通常では無いと思う。なぜそうになっているのか詳しく聞きたいです。地震の際、三階四階の職員と議員らは守られ、一階利用の市民が被害を受けやすいのでは?!	No. 54の回答参照
57	中間免震層の空間の高さは身長170センチの人が背をかがめずに歩けるくらいですか？1、2階の耐震性能はどれくらいですか。	免震層の天井高さは検討中ですが、身長170cmの人が屈まなくとも通れる高さで検討しています。 また、中間層免震構造とした建物全体について、耐震性能は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年制定）国土交通省」における耐震安全性の分類における最上位のⅠ類としています。免震層より下部の1、2階も上部と同じ耐震安全性の分類のⅠ類の耐震性能で計画し、設計を進めています。
58	中間免震ということは、1・2階の市民のエリアは免震ではなく、3・4階の職員の執務エリアと5階の議員のエリアだけが、免震のエリアとの理解で良いのか？	1、2階を含めた建物全体で中間層免震構造として計画しており、構造計算・解析を実施し、耐震安全性を確認し、評価されるものです。免震層の上下部で別々の耐震安全性にしたり、別々に耐震安全性を確認、評価したりするということではありません。1、2階を含めた建物全体としてⅠ類という最上級の耐震安全性の分類で計画し、設計を進めています。 なお、1、2階もⅠ類という最上位の耐震安全性の分類で計画するため、他の公共施設（図書館や生涯学習施設）の耐震安全性の分類（Ⅱ類）よりも耐震安全性は高くなる計画です。
59	何故 中間免震なのか 免震層より下は揺れに對しどうなのか説明してほしい	No. 54の回答参照
60	中間層免震のデメリットを教えてほしい。メリデメを比較して中間層免震によりメリットがあることを見せてほしい	中間層免震を採用する場合の主なメリットとデメリットは次のとおりです。 [メリット] ・1階外周にエキスパンションジョイント（建物の大きな変形差を吸収できる空間(クリアランス)を埋めるカバー）の設置が必要ないため、その破損による消防車などの緊急車両のアクセス遮断リスクがない ・地上にある免震層は浸水リスクを回避可能。想定外の浸水による免震部材の損傷交換リスクがない ・地下掘削量を削減することができるため、躯体資材量や残土処分等の減によるコスト・工期の減が見込める ・地上にある免震層を倉庫等で有効に利用可能 [デメリット] ・免震層より下部の揺れは基礎免震構造に比べれば大きい ・免震層を貫通する縦動線（エレベーター等）周辺にすき間を設けることが必要 ・免震層の上下階で建築的に空間が分断されないような配慮が必要 基礎免震を採用する場合の主なメリットとデメリットは次のとおりです。 [メリット] ・耐震構造に比べ、建物全体の揺れが軽減できる ・免震層を貫通する縦動線がない ・免震層の上下で空間が分断されない [デメリット] ・1階外周にエキスパンションジョイント（建物の大きな変形差を吸収できる空間(クリアランス)を埋めるカバー）が必要であり、その破損による緊急車両のアクセス遮断リスクがある ・地下の免震層は浸水リスクを回避できない ・地下の免震層は有効利用が難しい
61	中間層免震を活用している庁舎はありますか。	中間層免震を採用している新庁舎として、横浜市役所、川崎市役所、豊島区役所、渋谷区役所、川口市役所、春日部市役所、志木市役所、新発田市役所（新潟県）、御坊市役所（和歌山県）、海田町役場（広島県）、延岡市役所（宮崎県）などが挙げられます。また、江戸川区役所や岡山市役所なども中間層免震で計画中です。
62	中間層免震免震で、縦のつながり（階段、エレベーターなど）はどうなるのですか。	エレベーターは上部構造から吊り、周辺に必要な空間（クリアランス）を設ける計画で、階段は免震層で支障がないように上部と下部に構造を分ける計画で、設計する考えです。 中間層免震にも多くの事例があるように、どちらも多くの実績があり、それらを踏まえて設計する考えです。
63	選定審査会で委員から、中間免震とすると3階以上に市民が入りにくい横浜市役所のような構造になるとの指摘があります。どのように考えていますか。	No. 107の回答参照
64	中間免震層を採用している公共施設はありますか？	No. 61の回答参照
65	中間層免震の建物の事例を教えてください。	No. 61の回答参照
66	昔の耐震構造と、今の新しい免震技術なので、とても聞いていて安心しました。	（意見のみ）

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No.	「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。	回答内容
67	選定審査会で委員から、中間免震にすると、図書館が免震外であるため書籍が落下することになり、この場所を臨時診療所にすることが可能なのか疑義が示されています。どのように対応しますか？	本棚は地震が起きた際に書籍が落ちないように落下防止の対策が可能であり、必要に応じて対応していく考えです。 なお、現在検討している耐震安全性に関する内容は、No. 58の回答参照
68	基礎杭をどの様に考えていますか？支持地盤までどのくらいの深さですか？	既往の地盤調査結果を参考に、建物軽量化を図り、地盤改良による直接基礎を想定した計画としていますが、今後、敷地内で新たに地盤調査を実施し、最適な基礎構造計画を検討していきます。 杭基礎とする場合の支持層は既往の地盤調査結果で考えれば、概ねGL-28m程度となる想定です（今後の地盤調査結果によって支持層深さは敷地内で変動する可能性があります）。
（設備計画）		
69	空調の効率は、いいのでしょうか？	大空間の場合は、非効率にならないように居住域を中心に空調を計画するなど、場所や室の使い方に応じた最適な空調方式を採用し、設計する考えです。
70	開放的な分空調効率が悪くなることはないでしょうか。	No. 69の回答参照
71	電源設備は何処ですか？	非常用発電機や受電設備は屋上に配置する計画で、設計する考えです。
（外構計画）		
72	芝生広場は防災広場も兼ねるのですか？	兼ねる事を想定していますが、新庁舎の敷地外の部分もあるため、今後関係課と協議し、決定していく予定です。
73	駐車場台数は現庁舎より増えますか？	市民の方が利用できる駐車場の台数は、現在の本庁舎と同様の82台分の計画としています。
（公共施設再編）		
74	現在の消防署をすべてまとめるのですか？大船などに一部残すと言っていますが、それなら今までのままの方が良いと思います	消防本部、大船消防署、深沢出張所の機能を本庁舎と複合化を計画するものです。 なお、消防本部等が深沢整備事業用地へ移転後も、大船消防署の建物が安全に利用できる間は配置車両や人員の見直しを図りながら、一部機能を残すことを検討しています。
75	大船消防署の移転統合計画は地元の反対意見で見直しになった。新庁舎に消防本部を合体させる計画はどうなるのか。大船消防署にも消防機能を残すなら、新庁舎の面積が変わる。今回の説明では、設計は従来のままではないか。消防本部の統合計画が見直しになった以上、基本設計もやり直すべきと考えるがいかがか。回答下さい。	消防本部等が深沢整備事業用地へ移転後も、大船消防署の建物が安全に利用できる間は配置車両や人員の見直しを図りながら、一部機能を残すことを検討していますが、本庁舎に機能を集約していくという基本的な再編方針を変更したものではありません。 また、本庁舎と消防本部等の複合化は、災害発生時の中枢として災害に強いまちづくりのために計画を進めていくことから、最終的な車両や人員に変更はありません。 そのため、当初の計画どおり、消防本部、大船消防署、深沢出張所を複合化するという基本設計の前提に変更はありません。
76	深沢支所とその2階の図書館は、そのままですか？新市役所に統合されますか？	現在の深沢行政センターの機能（支所・図書館・学習センター）は新庁舎の建物で複合化（統合）する計画です。
77	現在の市役所や深沢行政センターは今後どうなりますか？	市役所について、No. 91の回答参照 現在の深沢行政センターについて、図書館及び学習センター機能は新庁舎に複合化し、支所機能は廃止した上で、深沢行政センターは廃止する予定です。また、跡地については、賃貸・売却等により、再編に必要な事業費の捻出も視野に入れた有効活用を図ります。
78	公共施設再編、鎌倉市のこれからの50年100年の中で語って欲しい。	No. 80の回答参照
（新庁舎整備の必要性）		
79	そもそも、何で深沢なんですか？	本庁舎の整備については、市民や専門家等の意見も踏まえ、単に施設を整備するだけではなく、公共施設の再編や全市的な防災力の向上など、総合的なまちづくりの視点をもって、長い時間をかけ、検討を進めてきました。 現在の本庁舎は、築55年以上が経過し、老朽化等が課題であることから、平成27年3月に策定した「鎌倉市公共施設再編計画」では、現在の本庁舎における防災面での課題解決に取り組むとともに、現在地建替え、現在地長寿命化、その他の用地への移転方策等について検討し、平成28年度末までに、将来の整備方針を決定することとしました。 この結論を踏まえ、平成27年度に「本庁舎機能更新に係る基礎調査」を実施し、平成28年度に策定した「鎌倉市本庁舎整備方針」において、「移転して整備する」ことを決定しました。平成29年度には、本庁舎の移転整備候補地を、他の公的不動産の利活用やその効果等を含めた全市的な視点から、深沢地域整備事業用地に絞り込むとともに、パブリックコメントを実施し、「鎌倉市公的不動産利活用推進委員会」からの答申を受け、「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」を策定しました。
80	設計者の考える未来の市役所の役割は何ですか。手続きは、ほぼコンビニでできると思うので。	ご意見のとおり、DX化によって多くの来庁目的が来庁せずとも達成できるようになっていくと考えています。 来庁が不要になっていく中で、市役所の役割は、「手続」から「相談」へ比重が意向していくことが考えられるとともに、「情報」と「場」を提供する「多様な市民活動（共創）の場」になっていくと考えています。
81	防災、災害時の市庁舎の在り方が問われる中、過去の歴史から見てリスクーな地盤、周辺環境の「深い沢」に固執する意味を教えてください。村岡駅との国との絡みがあるからとはっきり市民に説明したら良いのではないか？コンパクト性を唱えるのなら深沢の他にも可能性ある場所を市民の意見に耳を傾けながら探すべき。	新庁舎の移転整備については、村岡新駅（仮称）や国との関係で進めている事業ではありません。 平成29年度に策定した「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」において、本庁舎の移転先を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地としました。その検討に当たっては、①敷地は原則として市有地であること。②必要となる床面積25,000～30,000㎡の本庁舎が整備できる土地の面積を有すること。③「本庁舎整備方針」の基本的な考え方にそぐうことといった移転整備候補地抽出の基本的な考え方に基づき、梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)及び深沢地域整備事業用地内の行政施設用地を候補地としました。 この二つの候補地について、市民の利便性及び全市的なまちづくりの視点から評価し、どちらの視点においても深沢地域整備事業用地内の行政施設用地に優位性があったため、深沢地域整備事業用地内の行政施設用地を移転先として決定したものです。 なお、この判断に至る過程で、公募市民による市民対話や市民シンポジウム、42 回延べ818人を対象とした出前講座、パブリックコメントの実施し、市の考え方を周知し市民意見を聞くとともに、これらを踏まえて学識経験者等で構成する鎌倉市公的不動産利活用推進委員会において議論を重ねて決定したものです。

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No. 「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。		回答内容
82	鎌倉市へ質問 二万四千平米の根拠は？	平成28年に作成した「本庁舎機能更新に係る基礎調査報告書」において、国の基準（総務省基準及び国土交通省基準）や、他自治体との比較において、本庁舎のみの延床面積を約25,000～30,000㎡としていました。 その後、令和元年7月策定の「鎌倉市本庁舎等整備基本構想」で市民意見を生かして定めた基本理念（ビジョン）「市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎」を定め、5,000㎡コンパクト化した25,000㎡を延床面積の目標としました。更に、令和4年9月に策定した「鎌倉市本庁舎等整備基本計画」で、基本構想策定時の25,000㎡からデジタル化の推進等によって、新庁舎の延床面積を一層コンパクト化した約20,000㎡と定め、複合化する消防機能を3,000㎡、深沢図書館・深沢学習センターを1,300㎡とし、合計24,300㎡としたものです。
83	100年建築を目指す事は今の建築でも出来ると思いますが、いかがでしょうか。	「今の建築」を「現在の本庁舎」としてお答えします。 現在の本庁舎は、老朽化のほか建物の耐震性を考えると、震度6クラスの地震発生後に業務を継続できなくなるおそれがあるなどの課題があり、100年建築を目指す以前に、耐震化して使用することも非常に困難であると考えます。
84	ご説明ありがとうございます。ご存知のように市庁舎移転には賛否があり難しい立場と思います。その中で基本設計を受注された日建設さんの本業務に対する考え・スタンスを教えてください。また設計担当の皆さま個人のスタンスをお聞かせください。	【株式会社日建設による回答】 日建設では、100年を超える実績と経験を礎に、クライアントと共に社会環境デザインの先端を拓き、豊かな体験を社会や人々へ届けることをモットーとしています。今回、我々の持つ経験と技術を掛け合わせ、全力で業務に取り組んでまいります。
85	鎌倉市議会が移転に必要な位置条例を否決している状況の中、設計を頼まれている事に、何の違和感も持たなかったのですか？知られていなかったのですか？	【株式会社日建設による回答】 位置条例の状況については把握していましたが、基本設計を進める事で市民の皆様の新庁舎へのイメージを膨らませるお手伝いをさせていただきたいと考えました。 基本設計者（日建設）の本業務に対する考え方はNo. 84の回答参照
86	面積の積み上げを行政がきちんとしていないのに、24800平方メートルを減らすと言い切れる根拠を教えてください。	空間を「シェア」する事で効率化し、建物全体の面積の削減を検討し、それによってよりコンパクトな市庁舎を実現することで、初期費用の削減に寄与することを考えているものです。 面積の積み上げ根拠は、No. 82の回答参照
87	50年後の鎌倉市民、今のこども・若者の視点も大事して下さるものと期待しています。	（意見のみ）
88	鎌倉市役所の課題を、どう捉え、設計に生かしていますか？	鎌倉市が持っている課題は、他の中都市の市役所が抱える問題そのものであると考えています。 今後高齢化や人口減少が進んでいく中で、No. 80の回答のように市民活動を後押しする場をしっかりと設計していきたいと考えています。
89	位置条例が否決されてる中で、そもそも基本設計を行うことにしたのはなぜか。	「位置条例」の改正議案が否決となって以降、これまでに市民との対話等で寄せられた疑問や不安等の解消、意見の反映などに努め、市民の理解、共感が深まってきたと感じる一方で、もっと具体的にイメージを示すことで理解が深まるといった意見もいただいています。 このため、新庁舎の基本設計を進め、「新しい市役所」の具体化を図り、可視化することで、さらに多くの方々に理解や共感、納得感を高めていただけるものと考えています。市民の皆様に「新しい市役所」のイメージを膨らませていただけるよう、令和6年度から、市議会に可決いただいた予算に沿って新庁舎の基本設計に着手しています。
（現在地の利活用）		
90	入り口で渡されたチラシに庁舎はまだ25年以上持つとありますが、その後はどうなるのですか？	市は、当日に鎌倉商工会議所の入り口でチラシを配布していません。 また、当該チラシ（発行者不明）については、市が作成したものではなく、市はこれまで現在の本庁舎について、25年以上持つといった見解を示したり、チラシに記載したりしたことはなく、25年以上持たせた後の計画はありません。 なお、市は、現在の本庁舎を移転整備した後の現在地利活用について、「鎌倉庁舎」と位置付け、支所を超える行政サービス機能として、現在の市役所1階で対応している主な手続や相談に対して、「できない手続・相談はない」状態を目指すとともに、災害時においても市民の抛り所となる防災拠点として、地震等の災害時の一時避難や津波時に避難できる役割を持たせるほか、災害時の被害状況等に応じて「現地対策本部」としても使用できるよう整備する計画（鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン1.0（令和6年3月策定） https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/kankeisisetu.html ）を策定しています。
91	移転したら今の場所はどうなるの？手続きはできるの？	現在の本庁舎を移転整備した後の現在地利活用について、「鎌倉庁舎」と位置付け、支所を超える行政サービス機能として、現在の市役所1階で対応している主な手続や相談に対して、「できない手続・相談はない」状態を目指すとともに、災害時においても市民の抛り所となる防災拠点として、地震等の災害時の一時避難や津波時に避難できる役割を持たせるほか、災害時の被害状況等に応じて「現地対策本部」としても使用できるよう整備する計画（鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン1.0（令和6年3月策定） https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/kankeisisetu.html ）を策定しています。
（災害対策）		
92	柏尾川の氾濫リスク、1階が水没することが前提か？	1階の床レベルは想定最大規模の降雨（24時間あたりの雨量：632mm、年超過確率1/1000）であっても浸水しないレベルで計画し、設計する考えです。
93	柏尾川が氾濫した際の浸水対策についてはどのように考えていますか	No. 92の回答参照
94	深沢は液状化すると聞いているが大丈夫か？	No. 54の回答参照
95	深沢は洪水すると聞いているが大丈夫か？	No. 92の回答参照
96	耐震はクリアなっていますが、津波は避けようと思って避けられません。柏尾川の洪水を心配していただけるようですが、どこでも完璧な場所はないと思います。その上で、業務している人、たまたま市役所に来ている人が生きて逃げられる場所になる建物として、一番の建築のポイントは何か？	想定される様々な災害が起こっても、しっかりと機能を維持できる耐震安全性やライフラインのバックアップを備えた本庁舎を計画することだと考えています。
97	液状化の影響を受けないと言い切る根拠とその手法を、もうちょっと丁寧に教えてください。	No. 54の回答参照
98	深沢は水浸しになるって聞いてますが、そんなところに市役所を建てても大丈夫なのでしょうか	No. 92の回答参照

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No.	「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。	回答内容
99	柔軟な使い方ができる、長く使い続けられる、耐震性が担保でき、震災時に即座に対応ができることが重要だと思います。耐震構造について、深沢の洪水の危険性、液状化などの疑問を明快に解決して速やかに深沢で工事が始まることを望みます。	（意見のみ）
100	盛土しているということは、洪水の危険がある地域だと自覚していらっしゃる考えられるが、市役所を盛土しても、周囲が洪水だと消防車や救急車が出動出来ないのではないかな？	ハード整備で対策することが必要な計画規模の降雨（24時間あたりの雨量：302mm、年超過確率1/100）による洪水では、新庁舎や新庁舎周辺の道路が浸水する想定はまったくありません。 また、想定最大規模の降雨（24時間あたりの雨量：632mm、年超過確率1/1000）の洪水であっても浸水しない1階床レベルで計画し、設計する考えであることは、No. 92の回答のとおりです。このとき、新庁舎の整備予定地の北側の道路は、浸水しないか、わずかに浸水する想定が示されていますが、事前の対策（車両の移動）などで対応が可能であると考えています。 なお、想定最大規模の降雨があった場合、現在の大船消防署付近は約3mの浸水想定があり、深沢出張所付近は約2mの浸水想定があることからしても、支障のある場所ではないと考えています。
101	災害時に市の職員がどれだけ集まれるか、最低何人集まれば災害拠点として開設・活動出来るかな？市役所職員・組織の体制が問われる。	災害の規模や範囲により時間差は生じますが、基本的には総員が参集し、災害応急活動を行います。 なお、市では「地震災害時業務継続計画」を策定し、非常時に優先して行う業務を定めており、参集した職員で効果的に災害対応を行う体制を整えています。
102	ボーリングデータを市のHPに公表して、第三者による解説を。	ボーリングデータについては、鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会答申の中で公開されています。 深沢地域整備事業区域内の液状化検討については、平成23年度に6地点でボーリング調査を行い、その調査結果をもとに液状化の検討を行ってきました。 また、令和5年度に地質の専門家に確認し、東日本大震災後の最新の指針等に基づき検討を行った結果、液状化の可能性はあるものの、地表面の変位量は最大でも4cmとなり、軽微に区分されることから、液状化による顕著な被害は生じないとの判定としています。 なお、土地区画整理事業で整備する道路等の基盤については、国の技術指針などを見ながら、必要に応じて合理的な対策を講じます。一方、基盤整備後に建設する建物については、建築物のポリウム等に応じ、各事業者が必要に応じて対策を講じることとなります。 既往の地盤調査結果と同様に、第三者である地質の専門家に確認していく予定です。 ボーリングデータ（柱状図）は、必要に応じて市HPや基本設計図に掲載する考えです。 なお、既往の地盤調査結果やその調査結果を再検証した結果は次のとおり市HPで公表しています。 鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会防災部会報告書（巻末資料） https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/documents/fuka-bosai-hokoku-kanmatu.pdf 液状化に関する検討（深沢地域整備事業区域内における液状化の再検証について） https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/fuka_ekijouka.html
（周辺交通）		
103	市役所は立派ですが、周辺アクセス整備はどのような計画ですか	深沢地区の土地区画整理事業等の進捗に併せた周辺道路整備については、まちづくりを進める上で必要と考えています。 「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」と、令和5年度に実施した周辺道路計画案に基づき、事業の進捗に合わせ、できるところから取り組んでいきたいと考えています。
104	現市役所の地域から新しい市役所の場所までの交通手段の対策はどの様に考えていますか？（道路の渋滞が予想されることの対策、公共交通機関の補強対策など）	深沢地域整備事業用地周辺を含めた市全体の公共交通ネットワークについては、市内の都市拠点や公共施設の配置に加え、少子高齢化や交通弱者の移動支援等地域公共交通が果たす役割も含めて検討する必要があると考えている。 市では、現在鎌倉市交通マスタープランの見直しを進めており、市の将来都市像をしっかりと見据えながら、市全体の公共交通ネットワークのあり方を検討していく予定です。
105	深沢は周辺道路が狭いが問題ないかな？	No. 103の回答参照
106	深沢に新庁舎をと言いますが、道路状況や交通状況が悪いので、そんなところに新庁舎を建設しても大丈夫なのでしょうか	No. 103の回答参照
（他自治体の庁舎）		
107	横浜市の市役所の1・2階が市民のエリアとなり、3階より上が職員のエリアとなっていることで、市民は3階以上に行きにくいなどのデメリットも生じていることはご存知か？	市役所の利用者が手続等の目的で、3、4階に行かなくても用事が済むような計画を考えています。職員が1階や2階で手続や相談に対応することで、職員と市民との隔たりが生じないような工夫を検討しています。
108	横浜市役所も、1・2階が市民のエリアで、職員・議員と交流出来る場というコンセプトで作られたが、現在、1・2階は職員の昼休み以外はがらんとしたスペースとなっていることはご存知か。	No. 107の回答参照
109	横浜市役所は、あれだけの高層ビルで市役所を作りましたが、すでにもう執務室が満杯で、他に事務所を借りているようです。なんで、そんなことになっているのかご存知ですか？	現在、基本設計の段階であるほか、執務室を柔軟にレイアウトできる計画とするなど、開庁後に執務室が不足する事態にならないよう設計する考えです。
（プロポーザル）		
110	建設業界では、プロポーザルとコンペは違うのが常識。プロポーザルは事業者の実績や社会貢献度、企業方針などを審査対象にして書面を出させ、事業者を選ぶもの。コンペは具体的な設計などの提案を出させ、その中から一番優れたものを選ぶもの。国土交通省の指針にもそう書いてあります。今回、いきなり提案概要書を出させ、日建設計を選定したのは、このプロポーザルの規定に反するのではないかな。いきなり提案概要書をださせたやり方は問題だと考える。見解を聞きたい。	基本設計者の公募にあたり公表している募集要領（ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/documents/r06proposal01.pdf ）に沿って、プロポーザル方式で最優秀提案者を選定しています。なお、いきなり企画提案書の提出も求めておらず、まず参加資格確認申請書等の提出を受け、実績などを含めて参加資格要件を備えていることを確認するほか、価格審査を実施しています。 その上で、提案概要書を含む企画提案書等の提出を受けて、審査し、最優秀提案者を選定しています。 プロポーザル方式は、設計対象に対する発想・解決方法等の提案などを求め、発注者との共同作業を進める受注者として、もっとも適した設計者を選定するものです。このように、「設計案」を選定するのではなく、「提案者」（ヒト・チーム）を選定したもので、プロポーザル方式に則っており、問題はないと考えています。 なお、他の自治体でも同様の提案を求めるプロポーザル方式での設計者を公募しています。
111	鎌倉市が要求した設計条件は？消防署が一緒？	基本設計の前提となる「鎌倉市本庁舎等整備基本計画（令和4年9月策定）」（ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/hontyosya-hakko.html ）や公募時に示した仕様書等（ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/kihonsekkei_propo.html#gaiyou ）は、本市ホームページで公開しています。 なお、新庁舎と消防署の複合化についても記載しており、基本設計においても同じ建物に配置することを前提として設計を行っていきます。
112	鎌倉市民の声を聞く前に、プロポーザルの図面や基本設計を行った事は、固定概念を植え付ける手段に見えます	基本設計に至るまでに、様々な場面において市民の皆様から意見をいただいています。 「位置条例」の改正議案が否決となって以降、これまでに市民との対話等で寄せられた疑問や不安等の解消、意見の反映などに努め、市民の理解、共感が深まってきたと感じる一方で、もっと具体的にイメージを示すことで理解が深まるといった意見もいただいています。 このため、新庁舎の基本設計を進め、「新しい市役所」の具体化を図り、可視化することで、さらに多くの方々に理解や共感、納得感を高めていただけるものと考えています。市民の皆様は「新しい市役所」のイメージを膨らませていただけるよう、令和6年度から、市議会に可決いただいた予算に沿って新庁舎の基本設計に着手しています。 また、基本設計を進めながら、市民の皆様の貴重な意見を真摯に受け止め、必要なものは都度設計に反映していく考えです。

「新しい市役所」のイメージの共有～ともに考えるきっかけに～ 基本設計者チームの提案解説（10:00～スマホで質問しちゃおう）における質問と回答

No.	「詳しく聞きたいところ」や「こんな建物になるといいな」を投稿ください。	回答内容
（その他）		
113	入口で配られたチラシは、市の発行ですか？誰か発行しているのですか？	No. 90の回答参照
114	市民や職員のニーズとは何ですか？どのように把握されていますか？今現在の状況を教えてください	市民のニーズに関してはこのような説明会や今後開催する市民ワークショップなどを通じて集めていきたいと考えています。 職員のニーズに関しては職員ワークショップなどを開催し、働き方や窓口のあり方を議論し、ニーズを把握したいと考えています。
115	予算	－
116	質問への回答は、コンセプトに関わること、プランに関わること、防災に、というように構造的に紹介した方がわかりやすくなります。そのフォローをバックでした方が良いです。いきなり細部の話にしない方が良いでしょう。	ご意見ありがとうございます。いただいた趣旨に沿ってまとめ直しました。
117	いろいろな声を受け止めながら対応いただく日建設計の皆さんご苦労様です。この場集っている強い主張のある方々のみならず、多様な市民の皆さまがいます。何卒気を減入ことなく、これからよろしくお願いします。	（意見のみ）
118	市民の考えを聞いてから、設計に入らないと、やり直しばかりになるかと思います。基本設計が先に行われるのは、やり直しばかりになるかと思いますが、市民の考えを聞く前に基本設計をする事について、どう思いますか？	基本設計を進めながら、市民の皆様の貴重な意見を真摯に受け止め、必要なものは都度設計に反映していく考えです。
119	行政区の在り方について、将来起きうるかも知れない市町村再編について、市は広域連携を想定したフレキシビリティを。議員定数も変わるはず。	（意見のみ）
120	エリアごとの分庁舎との連携、関係性を見えるようにデザインして欲しい。ホームページに地図を使うなどできるだけビジュアルに直感的なイメージも大切に。	（意見のみ）
121	せっかくオンラインの市民参加の仕組みも導入しているのだから、対面だけではなくてオンラインでも意見を集めてほしい	プロポーザル時で意見募集にも使用した市民参加型共創プラットフォームを今後も活用していく予定です。
122	日建のこれまでの実績をプレゼンテーションして欲しい。	【株式会社日建設計による回答】 そのような機会がございましたらプレゼンテーションさせていただきます。下記HPをご覧くださいと思います。 https://www.nikken.co.jp/ja/projects/index.html
123	日頃からの、市役所と市民の関係。鎌倉に住んで年数が浅い人達へ、長い議論の経緯を伝える方法を。住居届を出した時にレクする時間とツールを。	（意見のみ）

※当日いただいた質問（時間内に扱えなかったものを含む）に対して、改めて回答を整理したものです。
※この投稿内容は原文のまま掲載しています。
※投稿うち、他の発言者に対する意見などについては記載していません。